

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	03	336	01
	事業名	0488 観光戦略経費	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する		160300	産業振興部観光戦略課	川部 千佳 22 - 9670						

概要	事業概要	伊賀市観光振興ビジョンに基づき、多様な観光資源を活かした「伊賀の観光スタイル」を構築する。特に、国際的にも知名度がある「忍者」を活用し、海外からの観光客誘客(インバウンド)へ向けての情報発信に取組むとともに、豊かな地域資源を活かしたテーマ性をもった体験型、交流型観光の創出(ニューツーリズム)、近隣市町との広域連携などに取組む。						事業期間					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等						平成	年度 ~ 平成	年度			
	補助金支出	有	※支出“有”の場合要綱を記入 産業振興部補助金等交付要綱						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	市内、市外及び県外の観光客						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	着地型観光を進め、市内の各所を周遊してもらえる旅行商品、体験・交流メニューを創出することにより、観光入込客数の増加を図る。											
H24実施内容	○伊賀市の観光素材を活かしたイベントの実施(NINJAフェスタ、薪能、城下町のおひなさんなど) ○あらゆる媒体を使った観光情報の発信 ○地域の特色を活かした観光振興を図るため市内の各観光協会の運営支援 ○広域での情報発信や効率的な観光・地域資源のPR展開												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23	H24	H25	H26			
活動指標	観光イベント・キャンペーン開催数	回	目標 20 実績 20	目標 20 実績 33	35	35	観光物産展回展回数及び観光キャンペーン、観光イベント開催数		
成果指標	メディア応報実績	件	目標 100 実績 360	目標 300 実績 318	360	360	各メディアで伊賀市内の観光資源が取り上げられた回数		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額			
	[収入]	使用料・手数料	490	403	490	490	490	490	490		
		国費(補助率)	2,896								
		県費(補助率)									
		地方債									
		その他	4,441	1,067	990	990	990	990	990		
		合計(A)	7,827	1,470	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	特記事項記入欄(積算基礎等)	
	[支出]	観光誘客促進事業委託料	2,380	3,942	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	伊賀流忍者観光推進協議会負担金については補正要求予定	
		伊賀流忍者観光推進協議会負担金		0	1,000	1,000					
		その他事務経費	51,256	60,919	117,809	72,177	20,698	20,698	20,697	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
		小計(B)	53,636	64,861	121,809	76,177	23,698	23,698	23,697		
		人件費									
		正規職員	人数	5.0人	4.0人	4.0人	4.0人	4.0人	4.0人	4.0人	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
			人件費	28,410	23,108	23,108	23,108	23,108	23,108	23,108	
臨時・嘱託・再雇用職員	人数	0.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人			
	人件費										
	小計(C)	28,410	23,108	23,108	23,108	23,108	23,108	23,108			
	合計(D=(B+C))	82,046	87,969	144,917	99,285	46,806	46,806	46,805			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	74,219	86,499	143,437	97,805	45,326	45,326	45,325			
	(うち繰越金)										
	※前年度比	—	12,280	56,938	△ 45,632	△ 52,479	0	△ 1			
	対象者あたり一般財源充当額										

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	市長の公約である観光立市の中核事業であり、市民の信頼感が消失し、地域活性化事業が停滞する	(概ね)順調	
関与の妥当性		協働の状況など	伊賀上野NINJAフェスタ(例)など、官民共同で地域を盛り上げようとする事業を多く実施している。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="radio"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="radio"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="radio"/> 負担金・補助金・交付金 <input type="radio"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び委託先の存在 実行委員会負担金など 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会
昨年度記載した改善策	来年度の事業開催までに実行委員会において課題の洗い出しと解決に向けた検討を行う。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 NINJAフェスタの忍術道場めぐりのパスポートをB4の一枚紙から、冊子型で記念品になるものに改めた。このことにより観光客の顧客満足度が向上している。
現時点における課題及び課題に対する改善策	伊賀市の観光客は大部分が通過型であり、滞在時間が短く消費金額も大きくない。これらの状況に対応するため、地域内周遊型の観光商品開発や着地型観光商品の開発を進めたい。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	小林康志	拡大・充実	観光立市を推進するため事業をいっそう拡大・充実させたい。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	事業名	0489 観光戦略経費					01	07	01	03	336	01
	基本施策	44	資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	所属			コード	名称		連絡先(記入者)		
				550100		伊賀支所振興課	安岡健司			45-9119		

概要	事業概要	各保勝会への祭りの企画運営及び来場者への便宜供与等に関する業務の委託。						事業期間								
								平成	16	年度	～	平成	年度			
	根拠法令・要綱等	伊賀市補助金等交付規則				審議会・委員会等		つつじ祭り運営委員会 紅葉まつり実行委員会								
	補助金支出	<input checked="" type="checkbox"/> 有	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		32					
	対象(誰を、何を)	イベントに訪れる観光客				※対象件数		単位		H23実績		H24実績		H25見込		H26目標値
成果(どうする)	イベントを開催することにより、地域間交流及び伊賀市について知ることができる。															
H24実施内容	委託先(委託内容)余野公園保勝会(余野公園つつじ祭りの実施)・霊山保勝会(霊山桜まつりの実施)・白藤保勝会(滝山溪谷紅葉まつりの実施)															

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明	
			H23	H24	H25	H26		
活動指標	余野公園つつじ祭り・霊山桜祭り・紅葉まつりの実施	回	目標	3.0	目標	3.0	3.0	3.0
			実績	3.0	実績	3.0		
成果指標	イベント集客数	人	目標	18,000.0	目標	18,000.0	18,000.0	18,000.0
			実績	18,000.0	実績	18,000.0		

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)	
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他									
	合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	委託料	3,031	3,027	3,070	3,070	3,070	3,070	3,070		
		使用料及び賃借料	30	29	30	30	30	30	30	
	その他事務経費									
	小計(B)	3,061	3,056	3,100	3,100	3,100	3,100	3,100	特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	0.3人	
		人件費	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数							
	人件費									
	小計(C)	1,705	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733		
	合計(D=(B+C))	4,766	4,789	4,833	4,833	4,833	4,833	4,833	4,833	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)
[収支]	一般財源充当額(D-A)	4,766	4,789	4,833	4,833	4,833	4,833	4,833		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	24	44	0	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	自主運営ができないので廃止できない。	(概ね)順調	
関与の妥当性		協働の状況など	各運営委員会及び実行委員会と協働で実施している。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争)	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金	※委託内容及び委託先の存在
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	祭りの企画運営
昨年度記載した改善策	各保勝会の自主的な地域イベントとして、自主運営組織づくりを行う。平成25年度をめどに、地域交付金としてまちづくり協議会へ交付し各地域独自で個性を生かしたイベントを取り組む。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいる。 桜まつり、つつじ祭り及び紅葉まつりの協力を行い観光情報を発信することで伊賀市の周知を図れた。
現時点における課題及び課題に対する改善策	「課題」市の委託事業として運営されている中で、一部まつり運営に自主性がかけている。「改善策」各保勝会の自主的な地域イベントとして、自主運営できる組織づくりを行う。今後、地域交付金としてまちづくり協議会へ交付し、各地域独自で個性を生かしたイベントを取り組む。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	藤澤義彰	現状維持	まちづくり協議会の協力を得ながら、地域間交流及び観光資源の活用ができるため。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	会計	款	項	目	細目	細々目
	0490	観光戦略経費					01	07	01	03	336	01
	事業名	0490	観光戦略経費	所属	650100	阿山支所振興課 川瀬 健二	連絡先(記入者) 43 - 1544					
基本施策	44	資源とてなしの心を活かし、観光を振興する										

概要	事業概要	地域文化の継承と新産業の創造、活発な交流の場の促進、コミュニティー活動の活性化を目的として「あやまの恵み・食・文化」をテーマに、けんずいまつりを開催している。						事業期間					
								平成	10	年度	～	平成	年度
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等	けんずいまつり実行委員会				
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号				
	対象(誰を、何を)	伊賀市民及び伊賀市への観光客等						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
							人	10,000	9,000	9,000	9,000		
成果(どうする)	阿山地域の文化や物産品を展示・販売することにより、市民や観光客が文化・物産に触れることができ、地域住民と都市住民との交流を深める。												
H24実施内容	けんずいまつりのイベントは、けんずい「豚ずい」500人分を大鍋で作り、伊賀米を使った餅つき、振舞い及びステージでの太鼓等の演奏を行い交流の促進を図った。 また、各ブースでは、地域特産品の販売を行い、「けんずい」と言う食文化を通じて交流を図った。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
			目標	実績	目標	実績			
活動指標	けんずいまつりの開催	回	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
成果指標	けんずいまつりの来場者数	人	10,000.0	10,000.0	10,000.0	9,000.0	9,000.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。								特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額		
[収入]	使用料・手数料									
	国費(補助率)									
	県費(補助率)									
	地方債									
	その他	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	けんずいまつり開催事業補助金
	合計(A)	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	1,450	特記事項記入欄(積算基礎等)	
[支出]	広告掲載料他		174	265	223	223	223	223		
	送迎用レンタカー他		230	285	298	298	298	298		
	テント設営費他		498	575	649	649	649	649		
	ステージ・音響料他		474	547	568	568	568	568		
	大鍋設営費他		172	206	264	264	264	264		
	会場使用料他		171	198	206	206	206	206		
	出演料他		156	180	187	187	187	187		
	大鍋・餅つき材料		245	344	305	305	305	305		
	その他事務経費									
		小計(B)	0	2,120	2,600	2,700	2,700	2,700	2,700	特記事項記入欄(有資格者の状況等)
[人件費]	正規職員	人数	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人	0.7人		
		人件費	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044		
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		
		人件費								
	小計(C)	3,977	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044	4,044		
	合計(D=(B+C))	3,977	6,164	6,644	6,744	6,744	6,744	6,744	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	2,527	4,714	5,194	5,294	5,294	5,294	5,294		
	(うち繰越金)									
	※前年度比	—	2,187	480	100	0	0	0		
	対象者あたり一般財源充当額									

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	(概ね)順調	当初計画した事業を100%実施している。	効率性
			※事業を行うにあたって非効率な点(実施主体、システム等)
			受益者負担を求められることができる事業である。
関与の妥当性	協働の状況など		
実施方法(該当するもの全て)	委託・指定管理(公募・競争)	○	負担金・補助金・交付金
	委託・指定管理(非公募・随意)		直接実施(契約・交付事務を除く)
			※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	早期の事務局の移行を段階的に行政の関与を少なくしたい。	左記改善策への取組状況	【状況】 【詳細】 計画のとおり進んでいない。 住民自治組織が実行委員会の核となるよう、役員体制等の見直しを行う方向で協議しているが、成果が得られない。 又、地域のイベントとして継続していくためには、各住民自治協議会及び、各自治会などがブースなど出展していくよう協議している。
現時点における課題及び課題に対する改善策	実行委員会事務局移行を自治協議会と打診調整しているが、受け入れ側の組織体制が不十分なため受け入れに消極的である。また、事務局を長年行政が担ってきたことにより、まつり開催ノウハウ等の経験者が実行委員会組織にかけている。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	土永瑞穂	手法改善	「けんずいまつり」は、実行委員会を組織して行っているが、実行委員会事務局は、振興課で行っている。今後は、実行委員会事務局を、住民自治協議会等に段階的に引き継いで行く必要がある。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	03	336	53
	事業名	0535 観光大使活動事業経費	所属	コード		名称		連絡先(記入者)				
	基本施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する		160300	産業振興部観光戦略課		川部千佳 22 - 9670					

概要	事業概要	伊賀出身の著名人等に伊賀市観光大使を委嘱し、伊賀市の知名度とイメージアップを図る。観光大使が活躍する分野で名詞を配布するなど伊賀市の観光情報やイベントを紹介し、観光客の誘致促進を図る。						事業期間 平成 23 年度 ~ 平成 年度					
	根拠法令・要綱等	審議会・委員会等											
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号		1	2		
	対象(誰を、何を)	地域内外の観光客						※対象件数	単位	H23実績	H24実績	H25見込	H26目標値
	成果(どうする)	多様な情報発信に取り組むことにより、効果的に地域の魅力を伝達できる。											
H24実施内容	関取(千代の国)に委嘱しているが、戦績が思わしくなく観光大使の業務に積極的に取り組んでいただくに至らなかった。												

指標	項目	単位	実績値				目標値		説明
			H23		H24		H25	H26	
活動指標	観光大使委嘱数	人	目標 1.0 実績 1.0	目標 1.0 実績 1.0	1.0		1.0		
成果指標	観光大使に関連した伊賀市の情報発信回数	回	目標 3.0 実績 3.0	目標 3.0 実績 3.0	3.0		3.0		

コスト	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	
	[収入]	使用料・手数料							
		国費 (補助率)							
		県費 (補助率)							
		地方債							
		その他							
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0
	[支出]	事務費		6	200	200	200	200	200
		事業費							
		その他事務経費							
		小計(B)	0	6	200	200	200	200	200
		人件費							
		正規職員	人数 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人	0.3 人
		人件費	0	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733
	臨時・嘱託・再雇用職員	人数 人	人	人	人	人	人	人	
	人件費								
	小計(C)	0	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	1,733	
	合計(D=(B+C))	0	1,739	1,933	1,933	1,933	1,933	1,933	
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	1,739	1,933	1,933	1,933	1,933	1,933	
	(うち繰越金)								
	※前年度比	—	1,739	194	0	0	0	0	
	対象者あたり一般財源充当額								

必要性	8. 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
有効性	※廃止したときの影響	達成度	※未達成事項記入欄
	伊賀市の顔を失い、付随する観光PR事業の効果が薄れる	遅れ	千代の国関の成績が芳しくなくコンタクトができにくかった
関与の妥当性	3. 国や他の市町と比較したとき、サービスの対象範囲や水準を見直す余地がある事業	協働の状況など	現在、特に協同はしていないが、将来ふるさと大使の取り組みが始まれば共同の可能性はある。
実施方法(該当するもの全て)	<input type="checkbox"/> 委託・指定管理(公募・競争) <input type="checkbox"/> 委託・指定管理(非公募・随意)	<input type="checkbox"/> 負担金・補助金・交付金 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施(契約・交付事務を除く)	※委託内容及び委託先の存在
昨年度記載した改善策	H23開始の事業で、昨年度は記載していない。		左記改善策への取組状況 【状況】 【詳細】
現時点における課題及び課題に対する改善策	競技(勝負)の世界にいる著名人に観光大使を委嘱すると、PR効果が競技結果に左右されやすいので、安定した効果を見込める手法を検討する。		
今後の方向性	担当課長氏名	方向性	理由
	小林康志	手法改善	ふるさと大使の考え方を取り入れたいため。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分 コード	会計 01	款 07	項 01	目 03	細目 336	細々目 54
	事業名	2528										
	基本施策	44	資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する	所属	040300	企画財政部秘書広報課	連絡先(記入者) 稲森洋幸 22 - 9600					

概要	事業概要	観光客の誘致促進を図るため、市長がトップセールスであらゆる媒体をターゲットとして、観光情報を効率的、かつ効果的に発信する。						事業期間						
								平成	25	年度	～	平成	年度	
	根拠法令・要綱等							審議会・委員会等						
	補助金支出	無	※支出“有”の場合要綱を記入						分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	市内、市外及び県外の観光客						※ 対象 件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値	
成果(どうする)	多様な情報発信に取り組むことにより効果的に伊賀の魅力を伝えられる													

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明
			H24	H25	H26	H27	
活動指標	トップセールスの回数			10.0	10.0	10.0	トップセールス又はトップセールスに準じる活動
成果指標	パブリシティ回数			20.0	22.0	25.0	TV、ラジオなどの広域的マスコミへの露出

	項目	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。							特記事項記入欄(特定財源の名称等)			
		H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額				
[収入]	使用料・手数料											
	国費 (補助率)											
	県費 (補助率)											
	地方債											
	その他			2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	市長報酬減額分			
	合計(A)	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	特記事項記入欄(積算基礎等)			
[支出]	事業費	旅費			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	トップセールスに伴う市長の旅費や名刺作成経費は秘書広報課で支出するが、その他の事業経費については、その都度観光戦略課へ配当替えを行う。		
		消耗品費			900	900	900	900	900			
		印刷製本費			100	100	100	100	100			
		その他事務経費										
		小計(B)	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000		特記事項記入欄(有資格者の状況等)	
	人件費	正規職員	人数	人	人	人	人	人	人			
			人件費	0	0	0	0	0	0		0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人	人	人	人	人	人		人	
			人件費									
		小計(C)	0	0	0	0	0	0	0			
	合計(D=(B+C))	0	0	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	0	0	0	0	0	0				
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	—	0	0	0	0	0				
	対象者あたり一般財源充当額											

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等

新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
市長が観光立市を掲げ自らの報酬を削減し財源を捻出した	伊賀は観光で生きていくというコンセンサスが市民間で醸成される	観光振興による地域の活性化が求められている	市長報酬減額分を経費としており任期期間中は継続する

事前評価

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	特記事項
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	観光振興により集客が促進され、それに伴い経済活動や地域の活性化が見込まれるため、積極的に情報発信を行うことが必要である。
効率性	6. コストに見合った効果が見込める。	基本施策の目的を実現するために市長自らが汗をかき地域をアピールすることは基本施策に対する貢献度が高い
		コストは市長報酬の減額分であり新たな支出を伴うものではない
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 稲森洋幸	トップセールスは、市長就任当初からの方針であり、また伊賀の資源の活用は地域の活性化として有効であると考えています。

基本情報	コード	名称	事業類型	I	ソフト事業	会計区分コード	01	07	01	03	336	55
	事業名	2529 着地型観光推進事業	所属	コード	名称	連絡先(記入者)						
	基本施策	44 資源ともてなしの心を活かし、観光を振興する		160300	産業振興部観光戦略課	川部千佳 22 - 9670						

概要	事業概要	近年では、個人旅行が多くなり、地域の伝統文化や人々の暮らしを体験する形態が主流になりつつある。そこで伊賀という地域で自ら観光商品を作り出し、自ら売り出す着地型観光の推進のため、地域の魅力の再評価や受け皿作りをしようとする。	事業期間					
	根拠法令・要綱等		審議会・委員会等					
	補助金支出	※支出“有”の場合要綱を記入	分掌事務番号					
	対象(誰を、何を)	地域資源、観光客を受入れようとする市民(団体)	※口対象件数	単位	H24実績	H25見込	H26目標値	H27目標値
	成果(どうする)	地域資源の観光商品化、観光客を受入れる組織の育成						

指標	項目	単位	実績値		目標値		説明					
			H24	H25	H26	H27						
活動指標	地域資源の調査件数	回	5.0	5.0	5.0	5.0						
成果指標	地域資源の発掘件数	件	5.0	7.0	7.0	7.0	体験メニューとしてホームページに紹介した件数					
コスト	コスト(千円) ※基金の充当はしないでください。											
		項目	H23決算額	H24決算額	H25当初額	H26計画額	H27計画額	H28計画額	H29計画額	特記事項記入欄(特定財源の名称等)		
	[収入]	使用料・手数料										
		国費(補助率)										
		県費(補助率)										
		地方債										
		その他										
		合計(A)	0	0	0	0	0	0	0	特記事項記入欄(積算基礎等)		
	[支出]	委託料			3,000	4,000	4,000	4,000	4,000			
		その他事務経費			1,000	1,000	1,000	1,000	1,000			
		小計(B)	0	0	4,000	5,000	5,000	5,000	5,000	特記事項記入欄(有資格者の状況等)		
		人件費	正規職員	人数	人	1.5人	2.0人	2.0人	2.0人	2.0人		
				人件費	0	0	8,666	11,554	11,554	11,554	11,554	
			臨時・嘱託・再雇用職員	人数	人							
				人件費	0	0	8,666	11,554	11,554	11,554	11,554	
	合計(D=(B+C))	0	0	12,666	16,554	16,554	16,554	16,554	特記事項記入欄(歳入確保の取組等)			
[収支]	一般財源充当額(D-A)	0	0	12,666	16,554	16,554	16,554	16,554				
	(うち繰越金)											
	※前年度比	—	—	12,666	3,889	0	0	0				
	対象者あたり一般財源充当額											

企画した背景、状況変化見通し、市民意見等

新たに企画した背景は何か?	取り巻く状況は、今後どのように変化していくか?(見通し)	関係者からどのような意見や要望が寄せられているか?	どのような状態になれば完了とみなすか? また、その目安の時期は?
従来型団体観光の低迷、個性的な個人旅行の増加	団体旅行がますます減少し、個人旅行が増加する。	関係団体が一丸となって取り組もうと意思表示されている。	地域の魅力作りに終わりはないが、事業を民間が担ってくれる段階になれば行政はフェードアウトできる。

事前評価

必要性	9. 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業	特記事項
有効性	2. 基本施策の目的を実現するために事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	特記事項
効率性	7. 将来的に民間等への移管が可能である。	特記事項
事業実施に対する担当課長の意見	担当課長氏名 小林康志	観光立市の根幹を成す事業であり、注力していきたい。